



岳下っ子だより

修了おめでとう！

本日3月22日（水）、修了式を行いました。新型コロナウイルスの影響で、一昨年度、昨年度と、テレビ放送による式となりましたが、今年度は体育館で行うことができました。

1年生から5年生までの子どもたちが、体育館に整然と並び、校長から5年生の代表に修了証書を手渡すと、他の子どもたちも一緒に礼をしました。適度の緊張感の中、子どもたちの真剣なまなざしが感じられ、1年間の成長を実感しました。

4月から一つ上の学年に進級する子どもたち。その胸には、新たな希望と決意がしっかりと芽生えているようです。



毎年この時期になると見事な花を咲かせるクリスマスローズ。優雅で気品あふれるその姿は、一回り成長した子どもたちの進級・進学を祝福しているかのようです。

修了式で話したこと

今、みなさんの代表として、5年生の長谷川陽菜さんに修了証書を手渡しました。

1年生から5年生のみなさんも、陽菜さんに合わせて一緒に礼をしましたので、1年生から5年生全員に修了証書を渡したことになります。みなさん、修了おめでとうございます。

修了証書は、この1年間、みなさんがそれぞれの学年の勉強や運動、生活での大事なことをしっかりと身に付けたことを示すもので、頑張ったことを示す証明書とも言えます。ですから、ここにいる全員は、胸を張り、自信をもって次の学年に進級できるのです。

今日は、令和4年度の締めくくりとして、岳下小学校のみなさんのいいところ、そして、進級した次の学年でも大事にしてほしいことを話します。

みなさんのいいところは、明るく素直で優しいところです。

岳下小学校のみなさんは、「おはようございます」、「こんにちわ」と爽やかに挨拶をしてくれま

す。時には、「校長先生、何してるんですか？」と声を掛けてくれます。「校長先生に話があります。」と言って、相談しに来てくれた子もいます。

天気の良い日には、校庭で元気いっぱい体を動かしているみなさんを見ると、私も元気になる。仲間を大事にし、授業中は話し合っ



て考えを深め、みんなで協力し合っ

て、運動フェスティバル、岳下小オリエンテーリング、6年生を送る会、各学級・各学年のイベントなどを創り上げ、楽しんでいます。

このように、みなさんには、生き生きと活動するエネルギーとチームワークがあります。これが、みなさんの最高にいいところ

です。では、このエネルギーとチームワークはどこから生まれるのでしょうか。私は、「笑顔」からだと思

います。にこにこ明るい表情でいれば、やる気が出るし、友達と仲よくなれるから

です。

みなさんは、どんな時笑顔になりますか？

そうです。楽しいときですね。でも、アメリカのウィリアム・ジェームズという人は、

楽しいから笑うのではない。

笑うから楽しいのだ。

と言いました。

何だか不思議な気がしますが、新型コロナ

ウイルスの感染拡大でずっと大変な日が続い

ても、みなさんから笑顔が消えることはありませんでした。そして、笑顔いっぱい

のみなさんには、素晴らしいアイデアが色々浮かんできたし、協力し合っ

て、楽しいことをたくさん成し遂げることができました。

なるほど、ウィリアム・ジェームズの言うことは、本当ですね。

笑顔は、楽しさをもたらします。笑顔は、つらいことを吹き飛ばします。自分や自分たちを信じ、笑顔で挑戦を続ければ、「やりたいこと」がき

つできます。「なりたい自分」にきつとなれます。

学年が一つ上がっても、笑顔を忘れず、楽しいことをたくさん成し遂げてくださ



春が来た！ 明るい日差しを受けて 元気いっぱい！！

日差しがすっかり明るくなり、日中のぼかぽか陽気に、木々や草花の芽も動き出しました。もう、すっかり



春です。春の草花が次々と花開き、龍泉寺前の西谷棚田の河津桜も咲き始めました。岳下小学校の子どもたちも生き生きと校庭を走り回っています。

3月15日（水）、卒業が目前に迫った6年生は、小学校生活最後の思い出づくりを楽しむかのように、校庭を駆け回り、遊具遊びに夢中になっていました。



下学年の子も、上学年の子も、みんな大好きなブランコ。小さくゆっくりこいだり、高く高くこいだり、それぞれに楽しんでいます。



肩を組んでポーズを決める6年男子。共に学び、共に遊んだかけがえのない仲間です。



鉄棒に座ってひなたぼっこ。温かい日差しを浴び、優しい風に吹かれながら、どんな話をしているのでしょうか。

明日は卒業式です

3月20日（月）、卒業式の予行を行いました。わずかな練習で臨んだ予行でしたが、「卒業式の意味」をしっかりと受け止めた子どもたちは、一つ一つの立ち居振る舞いの意味するものや、呼びかけや歌に込める思いを確認し、卒業式に臨む意識をしっかりともつことができたようです。

いよいよ明日は卒業式です。34名の子どもたちの巣立ちをしっかりと見届けたいと思います。

私事ですが・・・

この3月で定年退職を迎えます

素晴らしい3年間にありがとうございました

月日の経つのは本当に早いもので、私は、この3月をもって定年退職を迎えます。全く自覚はなかったのですが、数えてみましたら、教職に就いて38年もの年月が流れていました。

この38年間、自分としてはその時その時を自分なりに精一杯頑張ってきたつもりで、「心残り」というものをほとんど感じていません。大変なこともいろいろあったはずなのですが、今思い出されるのは、子どもたちとの楽しかった思い出ばかりです。管理職になってからも子どもたちと直接関わる機会をたくさんいただき、岳下小学校でも、一緒に遊んだり、いろいろ話したり、勉強したり、もの作りをしたり・・・と、子どもたちと楽しい毎日を過ごさせていただきました。

とは言っても、岳下小学校在職の3年間は、毎日がコロナとの戦いでした。マスクで子どもたちの顔が覚えられず、保護者の皆さんと顔を合わせることもままならない。教育において学校・家庭・地域の連携は不可欠のはずなのに、直接会って話せない。そんな顔の見えない停滞の日々がしばらく続きましたが、そこから一歩踏み出せたのは、どんな時でも素直で明るい子どもたち、学校を信頼し「今できること」に労を惜しまない保護者のみなさん、そして、

学校と地域との連携の必要性にご理解を示し、コミュニティ・スクール立ち上げに積極的にご協力くださった地域の方々のおかげからです。

コロナは終息したわけではありませんが、岳下小学校は、この底力を生かし、「一人一人の目が輝き、主体性を発揮できる学校」として発展を続けていくはずだという確信がもてます。これは、私にとってこの上なく嬉しいことです。

生まれたときからずっと二本松（北小学区）に住んでいながら、なかなか二本松市の学校に縁がなく、「二本松市立」の学校に勤務したのは岳下小学校の3年間のみです。最後の最後に地元の学校に通えて本当によかったと思います。何故なら、これからもずっと二本松市民である私は、いつも岳下小学校を身近に感じ、機会あれば何らかの形でお役に立てると思うからです。「校長」あるいは「教師」という役割は終えることにはなりますが、お陰様でまだまだ元気です。これからも、岳下小学校の子どもたち、岳下のみなさんへの思いは途切れることはありません。

3年間本当にありがとうございました。そして、これからも、きっと様々な機会にお世話になりますので、その時はよろしく願います。

